

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成28年度）

1. 施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地 電話番号 ホームページ	大分市大字大在6番地 097-592-5931 http://www.oitac.jp/
-----	----------------	-----------------------	---

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 所在地 指定期間	株式会社大分国際貿易センター 大分市大字大在6番地 平成26年4月1日～平成31年3月31日	県の所管部課 (局・室)	土木建築部港湾課 TEL：097-506-4614
-------	-------------------	--	-----------------	------------------------------

3. 施設の概要

設置年月日	平成9年1月24日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成4年4月に整備事業に着手し、平成8年11月に供用開始した。
事業内容	港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 港湾施設の利用促進に関すること。 から のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
施設内容	燻蒸庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料】 ガントリークレーン：1回 26,500円(1時間以内) 燻蒸庫：1回 840円(1㎡) 冷凍コンセント：1口 320円(1時間) トラックスケール：1回 370円
閉館日	年中無休（365日・24時間フルオープン）

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
コンテナ取扱量 (実入、外貿及び内貿) (TEU)	平成25年度	36,400	33,346	91.6%
	平成26年度	37,700	33,130	87.9%
	平成27年度	38,000	30,938	81.4%
	平成28年度	38,000	37,144	97.7%

5. 施設の利用状況

コンテナ取扱量 (実入り、空の合計量) (TEU)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成25年度	5,033	4,339	4,564	5,206	4,990	4,501	
	平成26年度	4,855	4,771	4,441	4,186	5,159	4,685	
	平成27年度	4,548	4,949	4,210	4,880	5,030	4,242	
	平成28年度	4,413	4,940	5,115	5,620	5,323	5,116	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成25年度	4,358	4,819	5,434	4,487	4,517	5,941	58,189
	平成26年度	4,461	4,811	4,154	3,857	4,526	4,703	54,609
	平成27年度	4,017	4,347	3,511	4,345	4,648	4,059	52,786
	平成28年度	5,961	5,565	5,351	4,912	5,026	5,448	62,790

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	アンケート等の実施により施設利用者の意見や苦情等を聴取した。
	実施結果	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」の際に、港湾利用業者から要望等の聴き取りを実施した。(7月28日)
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
バンプール「Eゾーン」側溝への水はけが悪く、蔵置の空パンに水が浸入する。		県に改修要望を行い、対応済み。
冷凍冷蔵庫の周りの雑草を対処できないか？		関係事業所等の協力の下、対応済み。
バンプール「Lゾーン」にあるマンホールの上部が周囲の地盤より高く危険。		県に改修要望を行い、一部対応済み。29年度に補修予定。
APL等パイロットのタクシー利用時、構内の通行指導考えてほしい。		タクシー会社への通行手順等の指導を行い、協力を依頼。
付属地の材木集荷場、材木の皮が飛散するので定期的に清掃を。		利用者へ清掃の指示を行った。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実にを行い良好な状態に維持管理し、365日・24時間常にサービス提供ができるよう努めた。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。 ○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。
イベント等	<ul style="list-style-type: none"> ○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催し、優れた立地条件や国際コンテナ港として県内産業に果たす役割などの周知を図った。(8月19日 100名参加)

の充実	○ 年度をとおり、小学生の社会見学や企業向けの施設見学の受入れを行った。
-----	--------------------------------------

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収入額(A)		48,150	48,544	48,544	48,544
内 訳	県からの委託料	48,150	48,544	48,544	48,544
	利用料金				
	事業収入				
	自主事業収入				
	その他()				
支出額(B)		46,985	49,986	49,553	48,994
内 訳	人件費	21,632	22,576	22,811	22,698
	維持管理費	15,642	16,881	16,572	16,294
	事業費				
	自主事業費				
	その他(通信運搬費、消耗品費等)	9,711	10,529	10,170	10,002
収支差額(A - B)		1,165	-1,442	-1,009	-450

9. 施設使用料等の収入状況

使用料(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成25年度	4,419	4,016	4,211	4,699	4,746	4,435	
	平成26年度	4,306	4,488	4,326	4,435	4,699	4,552	
	平成27年度	4,240	4,892	4,447	4,608	4,902	4,725	
	平成28年度	4,529	4,900	5,050	5,221	4,820	4,576	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成25年度	4,922	4,109	5,223	4,755	4,795	5,357	55,687
	平成26年度	4,316	4,551	4,432	4,498	5,018	5,076	54,697
	平成27年度	4,256	4,575	4,329	5,449	5,358	5,026	56,807
	平成28年度	5,287	4,779	4,624	4,834	4,765	5,172	58,557

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(1・嘱託職員) 総務スタッフ(1・正規職員) 総務スタッフ(1・正規職員) 技術スタッフ(2・正規職員)							
	職員数 (H 27.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	4			1				5

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	当該指定管理者は、平成6年12月に行政や民間団体等の出資により設立された。以来、経営面においては県や金融機関等から、技術面においては荷役会社等から人材派遣を受けて資質と能力の向上、定着に努めてきた。特に技術スタッフの育成には力を入れており、1級コンテナクレーン運転資格、港湾荷役に不可欠な陸上無線技師資格をはじめコンテナターミナルの運営管理に必要な資格を取得させている。
安全対策等	「大分港大在コンテナターミナル安全作業基準」の遵守を徹底させるとともに台風災害や設備事故には、緊急連絡網を活用し、適宜、適切な措置を講じられるよう体制を整えている。